

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	5	快適な生活環境づくり	担当部局名	部局長名
	施 策	3	公園・緑地	都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針 **P**lan

○ ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが安心して利用できる公園整備を進めます。
 ○ 身近な施設である都市公園やダム周辺の親水公園については、地域づくり組織をはじめとする多様な主体と連携して適切な維持管理を行い、快適な憩いの空間確保に取り組みます。
 ○ 住宅地の緑地については、地域づくり組織をはじめとする多様な主体と連携して樹木の適切な手入れを行い、緑地本来の機能である快適な緑の空間を創出します。

2. 現状と課題 **P**lan

地域づくり組織等による公園及び緑地の管理業務委託については、地域の協力を前提に成立してきたところですが、各住宅団地の高齢化率の上昇に合わせ、現状の質や量を維持しながら地域委託することが困難になりつつあります。
 こうしたなか、いかに管理業務委託の質と量を維持し、地域と協働して適切な維持管理に取り組むことが課題となります。

○施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合（％）	目標	-	-	-	73.0	
	成果	71.8	74.2	76.0		100.0%
市内の公園のうち、地域づくり組織等が維持管理をしている割合（％）	目標	-	-	-	80.0	
	成果	80.0	79.4	82		100.0%
市内の緑地のうち、地域づくり組織等が維持管理をしている件数（件）	目標	-	-	-	50	
	成果	41	42	43		22.2%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
地域づくり組織やボランティア団体等と協議しながら、個々の公園・緑地について地域の現状に則した維持管理の水準を定めることで、その質と量を維持し適切な維持管理を継続することが出来る仕組み作りが必要となります。	地域づくり組織やボランティア団体等と公園・緑地の管理業務委託することで、適正な維持管理を行いました。また、個々の公園・緑地について地域の現状に則した維持管理の水準を定めることが、公園に対する住民意識の高まりと、多様な世代が楽しみながら交流の場として提供していける場所づくりとなっている。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

公園に対する意識が高まり、交流の場となりつつあるが、多様な世代が健康増進活動に取り組むことが出来る健康遊具の設置が求められています。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

個々の公園・緑地については、地域づくり組織やボランティア団体と協議しながら、地域の現状に則した維持管理を継続していきますが、多様な世代が集い、憩う地域の交流の場となるよう、利用しやすい公園づくりを行っていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

公園・緑地の管理については、各地域の現状に合わせ、引き続き適正な維持管理に努めること。